

# 赤字バス路線からデマンドタクシー交通転換案

路線タイプ	NO	廃止バス区間	利用状況調査における対象バス停区間	バスの利用状況 (平成27年6月のICデータ×1.25を年間平均利用者とする) *6月は年間利用状況の中でも年間平均を上回っている月である。 (6月から夏にかけて利用が高まり10月がピークとなるが、11月から利用が減少する。)現金利用の個別のデータはないが、全体利用者の2割が現金利用であることから、ICデータ×1.25を現金利用を含んだ全体利用者とする。	デマンドを想定した区域	事業者	転換導入時期	バス路線の年間赤字欠損額(回送費除く)	デマンドを想定した区域における年間補助想定額	現在の 本数(H 27.4. 1時点)	
										往路	復路
補完路線タイプ3	1	世知原(槍巻)~世知原温泉	左記と同様	1運行あたりの利用者5人以下(平均2.23人/1運行)であり、通勤通学定期券利用は0であることからバス運行廃止	世知原支所管内として実施済みであり、廃止後は槍巻バス停につなぐ	世知原タクシー	現在、検討中	1,613,660	1,614,100(うち、路線廃止分1,122,740)	4本	4本
	2	小島入口~浅子教会前	小島入口~浅子教会	1運行あたりの利用者5人以下(平均1.41人/1運行)であり、通勤通学定期券利用は0であることからバス運行廃止	小佐々支所管内として実施予定	エコタクシー		1,675,095	1,469,761(うち、路線廃止分758,043)	3本	3本
	3	三川内山入口~上三川内	左記と同様	1運行あたりの利用者5人以下(平均3.45人/1運行)であり、通勤通学定期券利用は0であることからバス運行廃止	三川内支所管内で実施予定	OKタクシー		160,820	405,660(うち、路線廃止分は乗合することで補助なし)	4本	4本
	4	黒髪~上木場	黒髪公会堂~上木場	1運行あたりの利用者5人以下(平均4.3人/1運行)であり、通学定期券利用は5人であるが、うち2人は木場入口路線の利用実績があり、実質3人と判断されることからバス運行廃止。	黒髪町⇒黒髪公会堂バス停までつなぐ	タクシー事業者		2,900,154	590,766	3本	4本
	5	柚木~潜木	左記と同様	1運行あたりの利用者5人以下(平均2.39人/1運行)であり、通勤定期券利用は1人と少ない状況であることからバス運行廃止。	柚木支所管内全体	タクシー事業者		5,214,140	2,749,600(うち、路線廃止分2,334,718)	7本	7本
	上宇戸~柚木	左記と同様	1運行あたりの利用者5人以下(平均2.02人/1運行)であるが、小学生3人、中学生2人が通学している。しかし、小学生未満の子どもがいないことから、通学者の減少が見込まれておりバス運行廃止	3本			4本				

\*上宇戸線については(有)あたご商事が運行している

11,563,869 6,829,887

## 1. バス事業者が補完路線タイプ3の中で路線廃止を検討する需要レベル

- 概ね乗降客数5人/運行以下 かつ 通勤・通学客が少数であること
- それ以外でもその付近の概ね500m圏内に他のバス路線の停留所があること、又はバス事業の経営上の特別の理由がある場合

-4,733,982

## 2. デマンド転換区域方針

対象廃止バス路線区間のサービス受益者の居住範囲と想定される地域(町単位)をデマンドタクシー運行計画の対象区域とする。ただし、その隣接区域周辺がもともと交通空白地区である場合は、その地域も含めて運行計画を作成するものとする。

## 3. デマンドタクシー運行計画方針

- ダイヤは1日4往復(自宅⇄接続するバス停) ●料金310円(平成29年4月からは消費税を加味した料金) ●メーター料金との差を市が補助
- 運行維持基準は1日1便以上、年間乗合1.0超
- 運行日は月~金(土、日、祝日を除く)  
但し、運行開始後、1年間運行維持基準を満たさない場合は、廃止若しくは、次の1年間は週2、3日運行等の減便を行い、その場合でも基準を満たさない場合は廃止。

以上が運行計画内容方針となるが、通勤通学者の実態や需要状況を勘案し、地域で利用しやすい運行計画となるよう下記について配慮した計画とすることは可能とする。  
 ・1日の便数設定方法 ・交通空白地内のバス停の設定 ・特定の便のみの路線定期運行 ・利用状況により5人乗りタクシーからジャンボタクシータイプ利用 ・タクシー台数  
 ・定期券の設定